

# 熊本市東区役所 庁舎



所在地：熊本県熊本市東区東本町16番30号  
 建築面積：1,932.77㎡  
 延床面積：5,172.89㎡  
 構造・規模：SRC造一部S造、地上4階建  
 監理：熊本市都市建設局建設部管理課  
 設計：楳久米設計  
 施工：建築／三津野・吉永・親和・石崎建設工事共同企業体  
 電気／白鷺・電盛・馬場・一建設工事共同企業体  
 竣工：平成24年2月

S168

熊本市は平成24年4月から政令指定都市に移行し、これに伴い新設された東区役所庁舎。照明は光ダクトとLED照明との組み合わせを中心にして、省エネルギー化の推進とランニングコストの低減を図っています。

熊本市の政令指定都市に伴い、新設された分かりやすい配置構成の東区役所庁舎

新庁舎の建築的な特長は、太陽光発電の設置や光ダクトなどの積極的な自然エネルギーの採用と、軒の深い庇や窓の複層ガラスなどによる日射負荷制御、それに単純明快なサイン計画、だれもが分かりやすく使いやすいユニバーサルデザインの採用など。配置構成においては、市民の利用頻度の高い窓口業務フロアを吹き抜けの1,2階に配置し、目指す場所を一目で分かる構造としています。3階は比較的滞留時間の長い保健センターフロアが配置されています。

また、執務室は行政サービスの変化にも対応できるように、窓口はオープンカウンターとし、カウンター自体も可動式にして、フレキシブル性の高い空間設計となっています。

環境と経済性に配慮し、光ダクトとLED器具を組み合わせた先進の照明計画

照明は、1,2階の執務室には自然採光で効率よく太陽光を導入して室内の照明に利用する光ダクトシステムを採用。南側の採光部から密閉した光ダクトを通して執務室の天井に設けたアクリルカバー付のスクエア放光部により、平均設定照度600lxを確保できるようにし、その放光部の四隅に一体形LEDベースライト直付形スリムストレートタイプ調光形(消費電力36W)を設置。自然光が十分得られない曇りの日や雨の日、それに夜間など、光ダクトによる照度が600lx以下に下がった場合に、各所に配置したあかりセンサーとの連動でLED照明器具が点灯し、約5~100%連続調光により設定照度600lxが維持できるように設計されています。窓口待合スペースの平天井には、一体形LEDベースライト埋込ストレートタイプを、窓口カウンター上の天井には、顔の表情がよく見える演色性の高い(Ra92)LEDダウンライトを採用しています。

3階保健センターフロアは、健康子ども課窓口や執務室には、光の方向性のないLEDベースライト埋込スクエアタイプを使用し、落ち着いて相談できる雰囲気演出。すこやかホールには一体形LEDベースライト埋込形ストレートタイプを口の字配置にし、レイアウト変更にも自在に対応可能としています。



1階窓口業務フロア 執務室には光ダクトによる自然光とLEDベースライト直付形スリムストレートタイプを組み合わせた照明を採用



2階窓口業務フロアの光ダクト+LED照明



外観夜景



軒下のLEDダウンライト



LED照明と人感センサーによる 照明制御システム主操作盤 ON/OFF点滅制御のトイレの照明



庁舎内歩道のLEDガーデンライトによるアプローチ照明





1、2階を吹抜けにして各課の窓口が一目で見えるように配置構成した分かりやすい設計計画



3階保健センターの窓口カウンターの照明



3階エレベーターホールのLED照明



3階のすこやかホールにはLEDベースライトストレートタイプを口の字配置



LEDベースライトスクエア器具採用の会議室

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
1～3階室内	一体形LEDベースライト直付形ストレートタイプ	LEDT-32007W-LDJ	40	LED 消費電力:36W
		LEDT-32009W-LDJ	72	LED 消費電力:36W
	一体形LEDベースライト埋込形ストレートタイプ	LEDR-76021W-LDJ	79	LED 消費電力:65W
		LEDR-45401NW-LDJ	35	LED 消費電力:52W
	LEDベースライト埋込スクエアタイプ	LEDR-80401W-LDJ	40	LED 消費電力:107W
		LEDD-15001MW-LS9	103	LED 消費電力:21W
LEDダウンライト	LEDD-20001MW-LS9	107	LED 消費電力:27W	
	LEDD-20001ML-LS9	20	LED 消費電力:27W	
屋外	LEDガーデンライト	LEDG-67301+LPD-100GX	30	LED 消費電力:6.0W